

# やまなし 県議会 だより



「議長と語る会」に参加した児童・生徒連絡協議会の皆さん

## 二月定例会の概要

長崎幸太郎知事の二期目初となる令和五年二月定例会を二月二十七日から三月十六日までの十八日間の日程で開催しました。

二月二十七日の開会日に、知事は、総額四千九百八十八億四千七百七十四万七千円の令和五年度一般会計当初予算案などを提出しました。

知事は提案理由説明で、知事選で山梨県が目指す姿として強く訴えた「ふるさと強靱化」、「開の国」づくりについて述べました。

「ふるさと強靱化」では、「感染症や自然災害に対する強靱化だけでなく、経済基盤、県民の生活基盤を強く安心できるものにする」と述べました。

また、「開の国」づくりでは、「本県が国内、海外にも開かれることで、価値を高め、富を呼び込み、その結果として県民に豊かさをも

たらず」とした上で、「リニア中央新幹線開業を見据え、道路ネットワークの整備や空港開設の可能性などについて検討を進める」と述べました。

知事の説明を受けて、三月三日、六日、七日、八日の四日間、代表・一般質問を行いました。(詳細は二面)

三月九日に教育厚生、農政産業観光委員会、三月十日に総務、教育厚生、土木森林環境委員会、十三日には総務、土木森林環境委員会を開催し、付託案件や所管事項の審査を行いました。(詳細は三面)

定例会最終日の三月十六日の本会議では、一般会計当初予算、議員提出による山梨県多様性を認め合う共生社会づくり条例、山梨県手話言語条例、国に手話言語法(仮称)の制定を求める意見書等五十五案件を可決、同意して閉会しました。

二月定例会も、全ての案件を議了し、ここに滞りなく閉会の運びとなりました。これもひとえに、議会運営に対します各位の協力のたまものと感謝申し上げます。

さて、私も議員にとりまして任期最終の定例会を終えました。長崎知事をはじめとする執行

こうした中、来月には、いよいよ次期選挙が迫って参りました。議員各位におかれましては、今日までの豊かな経験と実績を生かされ、当選の榮譽を勝ち得て、再びこの議場で切磋琢磨できるように祈念申し上げます。



令和五年二月定例会県議会  
久保田松幸議長閉会の挨拶要旨

た。「令和」という新たな時代が始まる歴史的な年に、県民からの負託を受けてスタートした議員活動も、来月の四月で任期満了を迎えようとしております。

私たち県議会は、この四年間、本会議や各種委員会、議員連盟による活動等を通じて、世界的

部各位におかれましては、「県民一人ひとりが豊かさを実感できる山梨」の実現に向け、コロナ禍であっても歩みを止めない様々な施策を展開するなど、県勢の発展と県民福祉の更なる向上に尽力いただいたことに対し、改めて感謝を申し上げます。

結びに、議員並びに知事をはじめ執行部各位におかれましては、健康には十分留意され、引き続き、御活躍されますとともに、議会運営の全般にわたり、特段の御協力を賜りましたことに対し、改めて厚く御礼を申し上げます。









# 委員会レポート

## 総務委員会

委員長 卯月 政人



総務、教育厚生、農政産業観光及び土木森林環境の四常任委員会は、三月九日、十日、十三日に令和五年度一般会計予算案等の付託議案及び請願に係る審査を行い、三月十六日の本会議で各常任委員長が審査の内容及び審査結果を報告しました。

### 感染症対策センター 移転事業費

問 目的は何か。

答 また、新型コロナウイルス感染症の位置付けが五類へ変更され、業務の簡素化が見込まれる中で、大規模な改修や移転が必要なのか。

答 現在の執務室は、災害対策本部等の設置場所として位置付けられており、災害時の対応に支障を来す状況であるため、防災新館の本来の機能を回復することや災害時における感染症対策センターの業務継続体制を確保することを目的として実施する。

また、感染症対策センター

### 地域保健医療計画 策定事業費

問 次期計画では感染症をどのように位置づけて、どのように対応していくのか。

また、今回予算計上した具体的な事業内容はどのようなものか。

答 今後、国から基本方針等が示されるが、これまでの五疾病・五事業、在宅医療に加え、新たに「新興感染症」という項目が追加される見込みである。このため、新興感染症の発生初期からの流行状況に依りて、通常医療を確保するために必要な、県と医療機関との連携や役割などについて計画の中に盛り込むことが求

## 教育厚生委員会

委員長 乙黒 泰樹



【その他の主な質問事項】  
・部活動地域移行推進事業費  
・障害児(者)福祉施設整備費補助金

## 農政産業観光委員会

委員長 清水 喜美男



### メデイカル・デバイス・コリドー 創生事業費

問 DX型マッチング支援の実施と海外展開情報発信費といふ二つの臨時的事業が計上されているが、それぞれ具体的にどのようなことを行うのか。

答 DX型マッチング支援は、参入企業に対して、AIを活用したクラウド型マッチングサービスの利用料を助成し、確度の高い部材供給のマッチングを提供するものである。具体的には、膨大な企業情報を持つ民間サービスの活用を想定しており、県外メーカーのニーズと県内企業の保有技術とを結びつけ、提案先リストの作成や面談

【その他の主な質問事項】  
・やまなしの花産地生産力強化事業費

### 国際交流植樹事業費

問 富士北麓の豊かな森林空間を活用し、植樹を通じて姉妹・友好地域等と国際交流を図ることだが、この事業を新たに打ち出した理由は。

また、富士山世界文化遺産登録十周年の節目であり、このキックオフイベントの開催後も、より多くの国々の方に富士北麓地域に来てもらい、本県の魅力をアピールすることも重要と考えるが、県の所見は。

答 知事が公約の柱のひとつに据える、開の国プロジェクトでは、富士五湖地域を取り上げ、地域が持つポテンシャルをさらに引き出し、国際的

## 土木森林環境委員会

委員長 大久保 俊雄



【その他の主な質問事項】  
・富士山有料道路管理費補助金  
・洪水ハザードマップ作成事業費補助金  
・生物多様性地域戦略費

## 議員発議による条例及び 政策提言を可決

議員発議による「山梨県多様性を認め合う共生社会づくり条例」と「本県の強靱化と高付加価値化に向けた土地利用規制の在り方に関する政策提言」を、二月定例会において、可決しました。

この条例と政策提言は、昨年四月から多様性を認め合い共生社会を目指すための条例案作成委員会(宮本秀憲委員長)及び本県の強靱化と高付加価値化に向けた土地利用規制の在り方に関する政策提言案作成委員会(市川正末委員長)において、調査・検討を進めてきました。

可決後、正副議長と各委員会の正副委員長が長崎知事に条例と政策提言を手渡し、政策への十分な反映を求めました。



長崎知事に「山梨県多様性を認め合う共生社会づくり条例」と「本県の強靱化と高付加価値化に向けた土地利用規制の在り方に関する政策提言」を手交

## 手話言語の推進を 山梨県議会議員連盟

手話言語の推進を考える議員連盟(久保田松幸会長)は、聴覚障害者関係団体との意見交換や研究委員会による県立ろう学校への視察を行うなど、手話言語を取り巻く現状と課題についての研究を重ねながら、手話言語の理解と普及などを促進するための条例化を検討し、条例の素案をとりまとめました。その後、「手話言語条例案」は、二月定例会において議員発議により提案され、可決されました。

【その他の主な質問事項】  
・やまなしの花産地生産力強化事業費



## デジタル化推進委員会

デジタル化推進委員会(白壁賢一委員長)は、デジタル化を効果的に推進する方策を協議するため、令和四年度は五回の委員会を開催しました。

十二月二十三日には現地調査を行い、NECやデジタル庁、総務省の職員と意見交換を行いました。





# 県議会を担う新しい議員

掲載は、上段より右から左へ当選告示の順。  
 経歴は、職業(前歴)、住所、学歴、年齢、  
 立候補時の党派、現・元・新、当選回数順。  
 ※年齢は令和五年四月二十九日現在

令和五年四月九日に行われた  
 県議会議員一般選挙で当選し  
 た三十七人。任期は四月三十  
 日から四年間。



笠井辰生

県議、会社役員(市川三郷町議) 市川三郷町岩間一四〇五十一、東京理科大卒、58歳、無所属、現②



宮本秀憲

会社役員(県議会土木森林環境委員長、同多様性を認め合い共生社会を目指すための条例案作成委員長、外務副大臣秘書) 甲府市国母六二二三、早稲田大卒、44歳、自由民主党、現③



菅野幹子

政党役員、党県委員(甲府共立病院職員) 甲府市朝日、道都大卒、47歳、日本共産党、新①



杉山肇

会社役員(県議会副議長、同土木森林環境委員長、都留市議) 都留市大幡一〇一〇、日本大卒、63歳、自由民主党、現④



久保田松幸

会社役員、県議会議長(県監査委員、南アルプス市議会議長、県市議会議員) 南アルプス市上今諏訪四三七、増穂商業高卒、72歳、自由民主党、現④



志村直毅

農業、県ライフル射撃協会会長(県議会教育厚生副委員長、笛吹市議、同市農業委員) 笛吹市石和町東油川一七二、山梨学院大大学院修了、53歳、無所属、元②



清水喜美男

県議、環境省認定環境カウンセラー、県議会農政産業観光委員長、甲斐市竜王新町二五十一、山梨大卒、75歳、立憲民主党、現③



長澤健

県議(富士川町議会議長、同町監査委員) 富士川町天神中條九四八、国土建設学院卒、56歳、自由民主党、現②



望月大輔

無職(甲府市議、衆議院議員秘書) 甲府市朝気三一九一五、法政大卒、41歳、無所属、新①



寺田義彦

無職(甲府市議、衆議院議員秘書) 甲府市戸町一〇一八、立命館大卒、43歳、無所属、新①



飯島力男

無職(山梨市議) 山梨市市川八二五一一、千葉商科大卒、69歳、無所属、新①



藤本好彦

農業(県議会指定管理施設・出資法人調査特別副委員長、南アルプス市議、高校教諭) 南アルプス市秋山六六三、東京農大大学院修了、43歳、無所属、現②



中村正仁

無職(県スポーツ協会職員) 笛吹市八代町岡二五〇、日本体育大卒、46歳、無所属、新①



望月勝

県議(県議会議長、同議会運営委員長、同決算特別委員長、県監査委員、南部町議会議長、富沢町議会議長) 南部町福士二六四三一一、東京農大卒、77歳、自由民主党、現⑤



佐野弘仁

党県本部代表(甲府市議) 甲府市伊勢二二一五一一二六、山梨学院大大学院修了、59歳、公明党、現②



飯島修

県議、党県連副代表、保護司(県議会総務委員長、同土木森林環境委員長、同議会運営副委員長) 甲府市大手一三三四、慶應義塾大卒、68歳、立憲民主党、現④



古屋雅夫

県議、県議会副議長(県議会教育厚生委員長、山梨市議) 山梨市七日市場八一六一七、塩山商業高卒、68歳、無所属、現③



福井太一

無職(公立学校教員) 北杜市武川町宮脇二二六二一一、横浜国立大卒、47歳、無所属、新①



大久保俊雄

県議、県議会土木森林環境委員長(笛吹市議会議長、同市監査委員、県旅行業協会会長) 笛吹市石和町市部七七八、千葉大卒、61歳、自由民主党、現②



石原政信

会社役員(昭和町議) 昭和田西条九二〇一七、機山工業高卒、57歳、無所属、新①



向山憲稔

県議(県議会土木森林環境副委員長、同指定管理施設・出資法人調査特別副委員長、甲府市議、新聞記者) 甲府市大里町二〇五一、明治大卒、38歳、自由民主党、現②



渡辺大喜

会社役員(富士吉田市議) 富士吉田市新倉二七七一七、青山学院大大学院修了、36歳、無所属、新①



卯月政人

県議、大月市空手道連盟理事長、県議会総務委員長(県議会県民のための県有地の貸付及び賃料に関する特別委員長、大月市議、大月市猿橋町桂台一〇一一、山梨学院大大学院修了、60歳、自由民主党、現③



浅川力三

ホテル経営、ポール・ラッシュの会長、県自転車競技連盟会長、北杜市観光協会会長、北杜高校同窓会長、北杜市高根町清里三五五六、昭和薬科大卒、75歳、自由民主党、現⑥



久嶋成美

無職(上野原市議) 上野原市秋山一〇一四九、日本女子体育短期大卒、63歳、無所属、新①



流石恭史

県議、県議会教育厚生副委員長(県議会農政産業観光副委員長、同総務副委員長、富士河口湖町議) 富士河口湖町船津三四四八、法政大学院修士課程単位取得、63歳、自由民主党、現②



白井友基

県議、県議会農政産業観光副委員長(県議会教育厚生副委員長) 甲府市下飯田一一〇一五、専修大卒、46歳、自由民主党、現②



渡辺淳也

会社役員、党県連青年局長(県議会総務委員長、同教育厚生委員長) 富士吉田市下吉田二二五一一八、法政大卒、44歳、自由民主党、現③



小沢栄一

無職、韮崎市サッカー協会理事長(韮崎市議) 韮崎市藤井町北下條一七二二二、専修大卒、59歳、自由民主党、新①



伊藤毅

会社役員(甲斐市議会副議長) 甲斐市富竹新田一〇二四一一、湘南工科大卒、49歳、無所属、新①



桐原正仁

県議、県議会総務副委員長(県議会農政産業観光副委員長) 甲州市塩山上於曾一九四一、日本大卒、51歳、自由民主党、現②



白壁賢一

県議(県議会議長、同予算特別委員長、県監査委員、富士河口湖町議会議長) 富士河口湖町船津一五〇五、中央工学校卒、62歳、自由民主党、現⑤



土橋亨

会社役員、県臓器移植推進財団理事長、県監査委員(県議会副議長) 甲府市善光寺三三四一四二七、甲府商業高卒、70歳、無所属、現⑤



水岸富美男

会社役員、県監査委員(都留市議会議長) 都留市境一二五、東京工科専門学校卒、59歳、自由民主党、現④



名取泰

政党役員(南アルプス市議) 南アルプス市沢登一〇二九一四、信州大卒、55歳、日本共産党、新①



山田一功

税理士、社会福祉法人理事(県議会議長、同決算特別委員長、県監査委員、県PTA協議会会長) 甲斐市宇津谷一〇〇八、法政大卒、63歳、自由民主党、現④



河西敏郎

県議、中央市社会福祉協議会会長(県議会議長、同予算特別委員長、同決算特別委員長、玉穂町長) 中央市成島二三三三、甲府商業高卒、73歳、自由民主党、現⑤